

おくすり通信

No.3 麻疹(はしか)について

こんにちは、薬剤科です。最近麻疹が流行しています。当院の外来でも麻疹ワクチンの接種を希望される方が増え、ワクチンの在庫確保が難しい状況となっています。そこで今回は麻疹についてお伝えします。

《麻疹について》

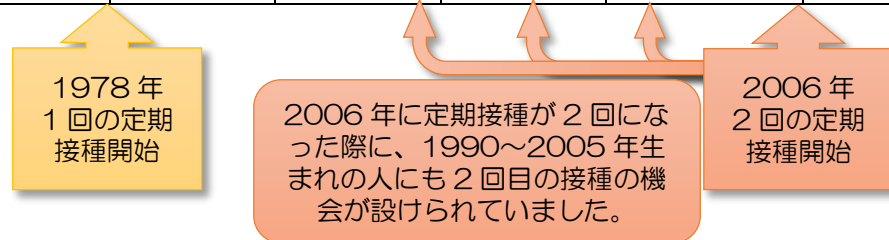
麻疹は麻疹ウイルスに感染することで引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水などの風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後に39℃以上の高熱と発疹が出現します。一度感染して発症すれば麻疹に対する免疫ができ、一生持続すると言われています。

麻疹は接触感染、飛沫感染、空気感染のいずれの経路でも感染します。そのなかで一番防ぐのが難しいのが空気感染です。そのため手洗いやマスクで防ぐことは難しくなります。麻疹の予防にはワクチンが有効です。

《麻疹ワクチン》

麻疹ワクチンは1978年(昭和53年)から定期接種が始まり、1～7歳半の間に1回接種することになりました。しかし、1回の接種では数%程度の人には十分な免疫がつかないことがあり、2006年(平成18年)から1歳と小学校入学前の2回接種を行うことになりました。そのため、2006年以前に生まれた方々は1回しか接種していない可能性があります。麻疹にかかったことがなくワクチンを1度も受けていない方や、2回目の接種を受けていない方は、医師にご相談ください。ワクチンの接種歴や罹患歴は母子手帳に記録がされているはずなので、気になる方は手帳で確認してみてください。

生まれた年度	～1977	1978～ 1989	1990～ 1994	1995～ 1999	2000～ 2005	2006～
2018年度の年齢	41歳以上	40歳～ 29歳	28歳～ 24歳	23歳～ 19歳	18歳～ 13歳	12歳以下
定期接種1回目	×	1～7歳半	1～7歳半	1～7歳半	1～7歳半	1歳
定期接種2回目	×	×	高校3年	中学1年	小学校入学前	小学校入学前



《ワクチン接種を希望される際に》

麻疹のワクチンを接種したい方は、冒頭にもお伝えしたようにワクチンの確保が困難な状況にありますので、事前に医療機関に連絡するようお願いいたします。もし麻疹ワクチンの在庫がない場合でも、MRワクチン(麻疹風疹混合ワクチン)で予防ができます。MRワクチンの使用は風疹の予防もあわせてできる利点もあり、厚生労働省も問題ないとしています。その際にも在庫の確認をいたしますので、事前に医療機関へご連絡ください。

そのほか、気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。